

# むらまち通信

第230号

塚本むらまち計画研究室  
主宰 塚本 保弘  
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10  
携帯電話:090-7515-7057  
E-mail: thuka@rose.ocn.ne.jp

2017年2月12日 発行



## 「2017 スノーシューツアー in 豊平川」の実施



ネコヤナギの芽を見るピアンカさん



豊平川がL字に曲がる箇所に着



川の中で雪の綿帽子をかぶる岩



河畔林の中を慎重に歩く皆さん



イチゴシロップを飲みながらの小休止



川に落ち雪をかぶる定鉄の路盤



砥山栄橋の下から登る皆さん



砥山栄橋を見下ろして



エゾシカに皮を食べられた木の枝

### ○ 実施状況

- ①日 時 平成29年2月11日(土) 10:30~12:30
- ②場 所 八剣山果樹園 → 公衆トイレ横 →  
八剣山南側豊平川L字箇所 →  
定山溪鉄道路盤崩落箇所 → 砥山栄橋 →  
下斗米邸横 → 八剣山果樹園
- ③主 催 八剣山発見隊
- ④参加者 8名

昨年は雨が降り中止しましたが、今年は薄日が差して寒さもそれほど感じない、スノーシューツアーには最適な日でした。  
今回のツアーは豊平川の河畔林3.5kmの道のりを2時間ほどかけてゆっくり踏破したところです。  
途中、川の流れのなかに雪の綿帽子をかぶってキノコの形になった岩、川に落下した定山溪鉄道の路盤に積もる雪、崖の中腹で凍りついた地下水のほか、雪の上に残るエゾシカの足跡やフン、ふくらみはじめたネコヤナギの芽など、この季節でしか感じられない変化に富んだ自然を、からだ全体で楽しみました。